



学生相談室だより

第11号
2006.4.15 発行

学生相談室のご案内
開室曜日：月曜日～金曜日
開室時間：12:00～16:00
場 所：S棟4階 博物館奥

色とりどりの花々が咲き始め、新緑が美しい、さわやかな季節となりました。
新入生みなさん、ご入学おめでとうございます。新しい生活には慣れてきましたか？ また2年生以上みなさんは新しい学年を迎え、気持ちを新たにしていることでしょうか。新しい生活の中では、戸惑いを感じることもあると思いますが、焦らずゆっくりとなじんでいってくださいね。悩みを誰かに聞いて欲しいとき、相談をしたいときなど、学生相談室を気軽にご利用ください。

～ カウンセラーからひとこと ～

ナルニア国物語を観て

浅香 佐輝子（木曜日担当）

久しぶりに映画を観に行きました。四人の子役の演技の上手さと映像（CG）の美しさが際立った作品でした。しかし同時に感じたことがいくつかありました。原作を読んでいる時は、登場人物に自分を投影したり、それを一段上から観察するということができるのですが、（・・・これをメタ認知能力といいます）ところが映画の場合はそういう訳にはいきません。色付き、音声つき、しかもCG化された映像が圧倒的な力で迫ってくるために、同時に自分の意識を働かせるということがひどく難しいのです。それ以上の広がりを感じることができなくなってしまいます。ここで本を読むことの意味ということを考えられるかもしれません。読みながら情報を整理し、組み立て、客観的に考えることから、全体を見渡す力が養われるのではないかとと思われるからです。

最近、映像を先に見て、原作も読んでみようかという方が増えているように感じます。どうぞ原作を読んで映像に入ってみてください。多分それまでとはちがった印象を受けられるでしょう。

7月には、これもファンタジーとしては大作の『ゲド戦記』が、宮崎アニメで映像化されるそうです。心理学を学ぼうという方、また自分探しをしておられる方におすすめの本です。まず原作を読んで、アニメを楽しんでみてください。



“愛”って何だろう？

川浪 由喜子（火・水・金曜日担当）

こんな話を聞いたことがあります。

「ある偉大な王に3人の息子（三つ子）がいた。彼は一人を自分の後継者に選びたかったが、3人ともみな非常に賢くて、とても勇敢だったので判断が難しかった。そこで彼は偉大な聖者にたずね、聖者は彼にある考えを提案した。

王は家に帰って、3人の息子たちに花の種の入った袋を一つずつ与え、『自分は宗教的な巡礼の旅に行ってくる。数年たって戻ってきたら、この種をお前達は私に返さなければならない。それを最もよく守った者が、私の後継者になる』と伝えた。」

皆さんだったら、その種をどうしますか？「最初の息子は、それを鉄の金庫に鍵をかけて入れた。二番目の息子は『兄弟がやったように閉じ込めてしまったら死んでしまうだろう。死んだ種はまるで種ではない』と考え、市場に行ってその種を売り、金を取っておいた。父が帰ってきたら、新しい種を買ってそれを父に返そうと考えたのだ。三番目の息子は庭園に入ってゆき、あたりいっばいに種をまいた。彼は父が帰ってきて、時期が来たら、咲いた花から種を集めて返そうと考えていた。」

もう、おわかりですね。もちろん父親は、三番目の息子を後継者に選びました。最初の息子は物質主義的であり、二番目の息子は計算高い人だと思います。それに対し、三番目の息子は、愛にあふれた創造的な心を持っているのです。私たちも、そのような心を持ちたいものですね。



イロナ気持ち

瀬頭 りつ子（月曜日担当）

人は生活していく中でいろいろなコトを経験していきますが、これらの経験を通してわたしたちは様々な気持ちを抱いていきます。わたしたちが抱く『イロナ気持ち』を大きく2つに分けると、『ポジティブな気持ち』と『ネガティブな気持ち』に分かれます。『ポジティブな気持ち』とは喜びや楽しさ、嬉しさがそれに当たります。今日、私はケーキを食べて「おいしいなあ」と感じましたが、この「おいしい」という気持ちも『ポジティブな気持ち』の1つですね。一方『ネガティブな気持ち』には悲しみや苦しみ、恐れなどがあります。私はよく学生時代、日曜日の夕方になると「はあ～、また明日から学校だ～、きついなあ～」と感ずることがありましたが、この「きつい」という気持ちも『ネガティブな気持ち』の1つですね。

『ポジティブな気持ち』に関しては、わたしたちに中に『いい感じ』を残してくれるので、まあ良いとしましょう。では『ネガティブな気持ち』についてはどうでしょうか？『ネガティブな気持ち』を抱くことによって自分自身がしんどくなってしまふことがあるので、『ネガティブな気持ち』を抱きたくないと思うことがあるでしょう。しかしながら、例えば何かを失う経験をした時に悲しみや苦しみなどの『ネガティブな気持ち』を抱くことはとても自然なことであり、このような気持ちを抱くことによって自分自身を守ることができるようになります。恐れや苦しみを抱くことによって、次に同じような経験をしないように注意するようになるでしょう。『ネガティブな気持ち』なんて抱かないほうがよいのではないか・・・と思われるかもしれませんが、実はある程度の『ネガティブな気持ち』を抱いていると、逆境に強くなるという利点が出てくるのです。『ポジティブな気持ち』と『ネガティブな気持ち』の両方を抱きながら、これからの学生生活を送っていきましょう。

